

め

判決書

鹿児島縣大隅國杵良郡平松村四十三番

戸士族

佐世保鎮守府主計部監獄課

監護黒田雲章

三十三年八月

右被告ハ明治二十二年十二月十日午後一時ヨリ二時
迄佐世保鎮守府主計部監獄課構内ニ於テ
囚徒十餘名就役者守當直ニ在リ其者守中
輕禁錮一年囚植木與吉ガ死体室ノ後口ヘ行
キシハ掃除ノ為ナラント思料セシモ彼ハ刑期モ長
ク兼テ注意スヘキ者ナルヲ心付キ其場ニ至リシ
中ハ既ニ板塀ヲ踰越ヘ逃走シタリ以上ノ事實

1970

ハ被告が自白及始末書並ニ當衙主理白石剛
ノ為シタル訊問調書ノ幾分平井監護長ノ
調書及大野監獄課長ノ具申書ニ徴シ懈怠
ニ依リ該囚ノ逃走ヲ覺ラサリシ証憑充分
ナリトス之ヲ法律ニ照スニ普通刑法第百五十
條首項貳圓以上貳拾圓以下ノ罰金ニ該當ス
依テ其範圍内ニ於テ罰金貳圓ニ處ス
明治二十二年三月廿七日佐世保鎮守府軍法會議

判士長海軍大佐松岡方祇

判士海軍大尉鈴木大三郎

判士海軍大尉宮川保之

判士海軍大尉村越豊房

判士海軍大尉種子嶋輔二

1971



主理 平井真操

録事 北岡重信

明治廿二年二月廿八日宣旨

角 庫

1972